



がんは大人だけの病気ではありません

9月は世界小児がん啓発月間です

小児がんとは、0～15歳未満の子どものがんのことで、年間発症数は約2,500人です。小児がんの種類は多いのですが、治療に当たる専門家は多くありません。

小児がんは8割の子ども達が助かるようになりました。しかし悪性脳腫瘍など治療成績が向上していない病気があり、2割の子どもたちは亡くなっています。

子どもは小さな大人ではありません。小児がんの治療の多くは、成人よりも強い治療をします。

成長期に強い治療を受けるため、晩期合併症と呼ばれる症状が出ることもあり、治療後も長期のフォローアップが必要です。社会の理解が広がるようにご協力をお願いします。

日本では、グローバル・ゴールド・セプテンバー・キャンペーン(世界小児がん啓発キャンペーン)が2021年より開催されます。

小児がんの啓発リボンの色は「ゴールド」です。

→ あなたにもできる小児がん支援活動

レモネードスタンドを開催して小児がん支援をしませんか？

レモネードスタンドへの寄付は小児がんの治療に関する研究開発に使われます。

キャンサーネットジャパンはレモネードスタンドジャパンの運営事務局をしています。レモネードスタンドを開催してみたい方、是非お問合せください。



© LEMONA DESIGN

ゴールドリボンを胸につけて、啓発(小児がんの子どもたちを応援)をお願いします

ピンバッチの収益(1個500円)は小児がん啓発のための冊子作成や印刷代等に使われます。みなさまのご協力をお願いいたします。



© CancerNet Japan

キャンサーネットジャパン「小児がん啓発」についてのお問合せ

NPO法人キャンサーネットジャパン

〒113-0034 東京都文京区湯島1-10-2 御茶ノ水K&Kビル2F

TEL: 03-5840-6072 (平日 10:00~17:00) FAX: 03-5840-6073

info@cancer.net.jp



！ 小児がん、5つのポイント

それぞれのポイントについての詳細は
啓発キャンペーンサイトをご覧ください



1 小児がんを早く発見しましょう



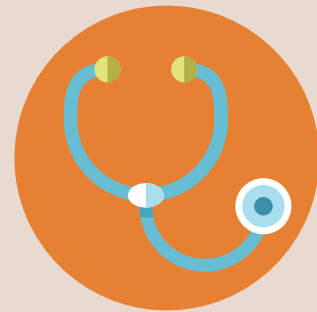
小児がんに検診は有効ではありません。いつもと違うと感じたらお医者さんに相談することが大切です。

2 専門の治療機関に相談しましょう



小児がん専門の拠点病院、連携病院が全国にあります。

3 長期に渡るフォローアップが大切です



治療終了後も定期的なフォローアップのために検査を受ける必要があります。

4 小児がんサバイバーに理解を示しましょう



小児がんの治療による晩期合併症を理解してください。

5 ひとりでも多くの子供を救いましょう



いまだ2割の小児がんの子どもが亡くなります。研究開発のための寄付金が必要です。